

## 特別感謝状及び感謝状 贈呈者一覧

総務部総務課

### 【特別感謝状】

氏名(年齢)	功績
すぎはら たかし 杉原 隆 (74)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元竹島問題研究顧問(平成19年4月に就任、平成24年8月末で退任)</li> <li>・その間、専門的な助言や指導、調査活動の分析・発表など、県が行う竹島問題の調査研究に多大なる貢献をされた。</li> <li>・島根県Web竹島問題研究所において、平成19年9月から「杉原通信」として、30回にもわたり研究成果を発表され、さらに平成22年9月には、それに基づき、『山陰地方の歴史が語る「竹島問題」』を出版され、竹島問題の啓発にも尽力された。</li> </ul>

### 【感謝状】

区分	氏名(年齢)	功績
証言	いけだ くにゆき 池田 邦幸 (84)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元隠岐の島町久見区長。</li> <li>・昭和28年に島根県より「アシカ漁業権」の許可を実際に受けた隠岐島漁業協同組合連合会3人の漁業者のうち、唯一のご健在の方。</li> <li>・当時の漁業に関する出来事を数多く証言されるなど、久見地区での聞き取り調査に貢献された。</li> </ul>
証言	おがわ いわお 小川 岩夫 (74)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元漁師 松江市(旧島根町)出身</li> <li>・1954年、対馬沖へ出漁した際に、韓国政府が一方向的に設定した「李承晩ライン」を超えたという理由で韓国に拿捕され、約7か月半の抑留を受ける。</li> <li>・ご自身の過酷な経験を後世への記録として残すため、拿捕当時の体験についての聞き取り調査に協力をされ、また抑留経験についてテレビや書籍などでも証言されている。</li> <li>・韓国釜山での収容所での漁船員の様子を撮った抑留写真や当時の韓国海洋警察船の写真が竹島資料室へ数多く寄贈された。</li> </ul>
資料提供	しみず さんしろう 清水 三四郎 (80)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋測量士、海上保安庁OB。</li> <li>・現在は清水海洋企画代表、近畿測量専門学校講師。</li> <li>・竹島資料室に多数の資料提供及び情報提供をいただく一方、竹島の歴史についても各方面で講演等を行い、啓発についても貢献されている。</li> <li>・竹島を近代測量法に基づいて最初に測量した地図【明治41(1908)年、海軍部内の独立庁であった「水路部」(現在の海上保安庁海洋情報部)が作成した「本標 経緯度実測原簿」中の実測図】の発見に大きく貢献された。</li> </ul>
資料提供	もりさき たまこ 森崎 玉子 (68)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江津市和木公民館主事。</li> <li>・複製して公民館で保存していた「日本海沿岸海図」(1897年英国製の海図)を提供。</li> <li>・この海図は、日露戦争の日本海海戦の際に江津市沖で沈没した「イルティッシュ号」の遺品の一つで、森崎さんを中心に和木地区の皆さんによって収集されたものである。</li> <li>・この資料の発見によって、イギリス海軍が刊行したわが国の海岸を描いた海図にも、現在の竹島が記されていることが新たにわかった。</li> </ul>